





http://www.jaaa.ne.jp/

新聞広告デジタル制作・送稿ガイド ver. 1.5

発行日:2002年1月25日 [非売品] 編 者:(社)日本広告業協会 EDI推進小委員会 デジタル送稿ワーキンググループ 発行者:大畠 邦彦 発 行: ①(社)日本広告業協会 〒104-0061 東京都中央区銀座4-8-12 コチワビル4階 Tel. 03-3562-0876 Fax. 03-3562-0889

本ガイラインに対するご意見・お問い合わせは、日本広告業協会・事務局(info@jaaa.ne.jp まで電子メールにてお願いします。 いただいた内容に対しては原則として回答はいたしませんが、改訂時の参考とさせていただきます。

本ガイドの一部または全部を(社)日本広告業協会の事前承諾なしに改編することを禁じます。 本ガイドに記載された内容は推奨情報の提供を目的としており、予告なしに変更されることがあります。 本ガイドに記載された全てのプランド名または製品名は個々の所有者の商標もしくは登録商標です。



# はじめに

今、新聞社へ送る広告原稿の形態が大きく変わろうとしています。 現在の紙焼きやフィルムによる送稿は、新聞社の印刷機が凸版輪転から高速オフセット輪転 へ移行していくにともない、1980年前後に亜鉛凸版から遷り変わったものです。近年、情報 処理や通信技術の進歩により、新聞製作ならびに広告制作のデジタル化はめざましく、新聞 広告原稿の送稿形態もデジタルデータへ替わりつつあります。

2000年の後半に入り、広告原稿をMOによるデジタルデータで正式に受け入れる新聞社が 相次ぎました。さらに、2001年10月には(株)デジタルセンド\*1によって「オンライン送稿」サービ スが開始されました。新聞広告デジタル送稿は実証実験から本格稼働へと、まさに現実の ものとして動き始めました。

デジタル送稿では紙焼きやフィルムは存在しません。目には見えないデータの内容確認は今 までとは違う新たな方法で行う必要があります。送られた原稿データが新聞社でトラブルなく 出力されるためには、まず送る側で正しいデータ制作と正しいデータ保存がなされていること が大前提となります。不備があれば、リソース環境のわずかな相違が文字を化けさせ、画面 には見えないミスがサイズを縮めてしまうなど、意図しない結果を発生させてしまいます。

本ガイドはMacintoshで新聞広告原稿を制作し、MOメディアやオンラインで送稿する際の、 現在最も安全確実なルールや標準仕様などを、(社)日本新聞協会、新聞広告電子送稿 コンソーシアム\*2、(株)デジタルセンドと連携をとりながらまとめたものです。誰かが知っておけば いいということではなく、新聞広告に携わる全ての担当者に理解していただきたいと思います。

全ての送り手から全ての受け手へスムーズなデジタル送稿の早期実現と新聞広告の発展に 本ガイドを役立てていただければと願っています。

2002年1月



1-1. DTP**による広告制作とは** 1-2. トラブルのないデータ制作 / 送稿を行うための必須12原則 1-3. 新聞広告デジタル制作の注意点 1-4. フォントに関する注意点 1-5. DTP**ソフトに関する注意点(**Adobe Illustrator) 1-6. DTP**ソフトに関する注意点(**QuarkXPress) 1-7. 画像データに関する注意点(Adobe Photoshop) 1-8. JAAA新聞原稿<製版依頼書>見本 1-9. 掲載データ送稿時における注意点 1-9b. デジタルセンドのオンライン送稿に関する注意点 1-10. JAAA新聞原稿 < 揭載データ確認書 > 見本

\*1:(株)電通、(株)博報堂、(株)共同通信社の3社が発起人となり、新聞社69社、通信社2社、広告会社47社により2000年8月設立。 \*2:1999年2月設立、2000年1月活動終了。



# これであなたも基本がわかる。

# 1-1.DTPによる広告制作とは

# 1-1-1.ほとんどの広告原稿はコンピュータで作られています。

コンピュータの進歩に伴って、広告制作の現場では写植や紙焼き、 版下といった従来の制作工程で作られる原稿はほとんど姿を消し、 コンピュータを使用したデジタルデータという原稿になっています。

# 1-1-2.DTPで重要なのは3つの要素です。

コンピュータを使用してデジタルデータで原稿を制作する行為をDTP と呼んでいます。(DTPとはDesk Top Publishing = 電子出版、また はDesk Top Prepress = 電子製版の略語。)DTPにおいて重要な 骨格となるのがOS( Operating System )、アプリケーションソフト、 そしてフォントです。この3つの要素で緻密な制作が行われ、その互換 性が保たれます。広告制作のように大勢の共同作業が行われる場合、 データの互換性が最も大切なことです。

# 1-1-3.現在一般的なOSとアプリケーションソフト、フォント。

DTPの歴史的要因などにより、日本においてはOSはMacintosh、 アプリケーションソフトはAdobe Illustrator(アドビイラストレーター)/ Adobe Photoshop(アドビフォトショップ)/QuarkXPress(クォーク エキスプレス)、フォントはモリサワフォントが多く利用されています。 こうしたソフトでは機能を強化してバージョンアップすることが多く、 バージョンの違いにより完全な互換性が保持されないことがあります。



É

Macintosh OS DTPにおいて現在最も多く使われるOS。

### アプリケーションソフト



Adobe Photoshop 画像処理(色の補正/色分解/ 作画など)を行うペイント系ソフト。



QuarkXPress 文字入力やレイアウトなどを行う レイアウトソフト。 複数ページを扱える

# 1-1-4. プラグイン / XTensionが機能を追加します。

アプリケーションソフトを使用するときに、文字詰めや写真の切り抜き を補助したり、表組や立体的な文字・図形を作成する機能をプラグイ ン / XTensionというソフトが行います。このソフトはアプリケーション ソフトごとに数多くの種類があります。

### プラグイン/XTension







QuarkXPress XTension QuarkXPressの機能を拡張する ソフトの一種。作業を効率よく 進められる。

# 1-1-5.ファイルの保存方法には様々な形式があります。

ファイルにはそのソフト固有のファイル形式(フォーマット)と互換性 などを目的とした複数のソフトなどで利用できるファイル形式がありま す。DTPの作業ではいくつものファイル形式を必要に応じて使い分け ます。







フロッピーディスク

QuarkXPress EPS7711 QuarkXPressで制作された EPS形式のファイル。

# 1-1-6.データ記憶媒体メディア」には様々な種類があります。

データを記憶させて持ち運んだリバックアップとするときに、使用する 媒体(メディア)には様々な種類があります。広告制作の現場では MOやCD-Rなどが多く使われています。

### メディア 8 T I



磁気による薄い円盤状のデータ記憶メディア。記憶容量が少ない。



レーザー光線と磁力でデータを読み書きする光磁気ディスク。128MBから1.3GBまで の様々な種類があり、日本では広く普及している。

### CD-R Ő

レーザー光線でデータを読み書きする光ディスク。650MBの大容量。書き込みは1度 だけ可能で、耐久性が高くCD-ROMドライブで読み込みができる。

# 1-1-7.ウィルスにかからないように予防が必要です。

ウィルスはファイルを破壊したりソフトやハードに決定的なダメージを 与えるものも少なくありません。膨大な数のファイルが様々なコン ピュータを経由する広告においては、ウィルス感染は絶対にあっては ならないことです。

## ウィルスチェック / ワクチンソフトの一例



このガイドラインで使用しているアイコンは一例で ソフトのバージョンやメディアのメーカーなどにより異なる場合があります。



行えます。



# まず守るべき十二の掟。

# 1-2.トラブルのないデータ制作 / 送稿を行うための必須12原則





# これはルールであり、マナーである。

# 1-3.新聞広告デジタル制作の注意点

# 1-3-1. 推奨するOS / アプリケーション

OSはMacintosh漢字Talk7.5.1(OS8.0以降の場合日本語版)以上を使用してください。 推奨するアプリケーションはAdobe Illustrator(ver7.0J、7.0.1」は使用不可,ver8.0は8.0.1に ver9.0は9.0.2にアップデートが必要) QuarkXPress、Adobe Photoshopです。

ファイルはEPS形式で配置画像を含めて保存してください。

アプリケーションのバージョンは各新聞社で対応状況が異なり注意が必要です。新バージョンに 関して、事前出力テストを推奨している新聞社もありますので、各新聞社にご確認ください。

1-3-2.ファイル名 / フォルダにおける注意

配置した(埋め込んだ)素材のファイル名は変更しないでください。リンクがはずれて、掲載用の EPSデータから抜ける危険があります。

全データを1フォルダ / 1階層で管理し、配置していない不要なデータは入れないでください。

# 1-3-3.原稿サイズ…………………………………………………………

原稿サイズは数字で正確に。新聞の囲み罫の場合必ずアウト ライン化された罫の太さの外側を原稿サイズとしてください。



トンボは使用せずに原稿のみ制作してください。

### 

フォントに関するトラブルを回避するためには、すべてのフォントを アウトライン化することを現在最も安全な方法として推奨します。 デジタルセンドを利用して送稿を行う場合は、必ずすべての フォントのアウトライン化を行ってください。

フォントのアウトライン化を行っても、デジタル送稿においては直接 RIPへアウトラインデータが送られ、さらに出力解像度も高いために 文字が太って出力されることはありません。

和文フォントを使用する場合は必ずPostScript Type1フォントを 使用し、OCFフォントとCID(NewCID)フォントの混在使用は避けて ください。(OCFフォントの使用は推奨しません。)

出力可能なフォントは新聞社ごとに異なります。詳細は各新聞社に 問い合わせて確認してください。

欧文・和文TrueTypeフォント、欧文PostScript Type1フォント、 新聞社にないフォントはアウトライン化またはラスタライズしてください。

アウトライン化は、Illustratorではメニューバー < 文字 > の

<アウトライン作成>で、QuarkXPress(4.0以降)ではメニューバー

<スタイル>の<テキストのボックス化>で行います。

文字詰めを行う場合はテキストの一部ではなく、テキストエリア 全体に対して詰めの設定を行ってください。

文字詰めでトラッキングやカーニングを使用する場合は、併用 しないでください。ATMの表示(モニター上の表示)では適正に 見えても、RIPの段階で字詰めが変わってしまうことがあります。

# 1-3-5.色の設定

色の設定はスミ1色(モノクロ原稿)の場合はK(グレー スケール)に、4色カラー原稿の場合はCMYK(プロセスカラー) に統一して設定してください。

スミ+特色(単色原稿)を使う場合は新聞社指定が特に なければ、原則的にC(シアン)版を色版として設定して ください。

RGBモードは厳禁です。



デジタルレテストなら、マウスの登場です。

 ・原稿サイズは全15段で制作しています。
 ・回Ustrator8.0で制作しています。

 ・写真はカラー/モノクロ、ハーフトーンスクリーン情報のあり、なし、クリッピングパスの使用など複雑な構成になっています。
 ・オブジェクトのスクリーンはライダーで増定しています、(ライダーの増定はEPSデータを聞くと無効になります。)



# :……1-3-6.プラグイン / XTension

プラグインやXTensionなどは、出力側にインストールを必要とする ものがあるので注意が必要です。

複雑なパスになるとPostScriptエラーを起こす場合があるので、

# 画像ファイルとして配置するなど事前に回避してください。

## 1-3-7.不要なオブジェクトなどの削除 ………

制作物の外側に不要なオブジェクト・文字や孤立点(不要な アンカーポイント)があると、CTSやCTPではすべてのデータがある 範囲を出力するので必ずチェックして取り除いてください。

ガイドラインも認識されることがあるので、最後に必ず削除してください。 制作物の中に孤立点がある場合もコミとなって表れることがあるので 同様に削除してください。

何も置いてないレイヤーや広告原稿に含まれない注釈なども 入れないように注意が必要です。

# 1-3-8.アウトラインの注意

アンカーポイントが多いデータは出力 エラーを起こすことがあります。 データの 不要なアンカーポイントは削除して調整 してください。



## ·····1-3-9.画像

画像のデータフォーマットは、EPS形式のファイルを推奨します。 画像のモードはスミ1色で刷る画像はグレースケールに、4色カラーで 刷る画像はCMYKカラーを使用してください。RGBモードは厳禁です。 特色を使用して刷る画像(単色原稿の場合)はCMYKカラーの C(シアン)版を色版として使用してください。

画像データは適切な範囲にトリミングしたうえで貼り込んでください。 マスク処理されて隠れている範囲が大きい画像データは、不必要に 重くなります。

写真やイラストなどの画像データの解像度は掲載実寸で200ppi 程度にしてください。

マークやロゴタイプなどのモノクロ2階調の画像ファイルは掲載 実寸で1200ppi程度にしてください。

## …… 1-3-10. ハーフトーンスクリーン

網点などのハーフトーンスクリーン情報は出力時に反映できる 新聞社とできない新聞社があります。

画像などにスクリーン値の設定がされていない場合は、各新聞社 の初期設定値で出力されます。

画像などにスクリーン線数、スクリーン角度、網点形状を設定する 場合はハーフトーンスクリーン情報を含めて保存してください。

# ······ 1-3-11.オーバープリント / トラッピング

オーバープリントやトラッピングの処理が必要な原稿の場合、 データ作成時に設定してください。新聞社では「送稿されたRIP前の データはさわらない」を基本原則としています。







### 1-3-12.その他

EPSデータをEPSデータ内に再配置するネスティングを2回以上 行うことは、エラーの原因となるので避けてください。

グループ化はマスクや複合パスなど必要最低限に留め、

オブジェクトはなるベくグループ化を解除しロックもはずしてください。 混乱した作業状況をそのままファイルに持ち込まないでください。 同じ色で重なり合うオブジェクトは合体させたり、レイアウト要素ごとに 必要最低限にレイヤーを分けるなど整理整頓されたファイルを作成 してください。

# 1-3-13. JAAA新聞原稿 < 製版依頼書 >(1-8. / 2-4.)

デジタル原稿の制作段階におけるミスはないか、この依頼書を 使ってチェックしてください。

画像の貼り替えなどで製版会社に入稿する場合、画像解像度 などそのデータの持っている目に見えない、形にならない情報を製版 スタッフに適切に伝えてください。

製版工程で必要なハーフトーンスクリーンやトラッピングなどの設定を 行う場合も、この<製版依頼書>で製版スタッフに指示をしてください。

製版終了時にはDS Checkerで掲載データに不備がないか 検査を行うことを推奨します。

# フォントはホントにやっかいだ。

# 1-4.フォントに関する注意点

フォントの出力トラブルはたいへん多く原因も多岐にわたります。広告 表現に最も大切な要素の一つでもあり、基本の理解と十分な配慮が 欠かせませんが、以下の点を守れば難解な知識を必要とせずに、より 安全なデジタル送稿が行えます。

現在最も安全な方法として、フォントに関するトラブルを回避する ためには、すべてのフォントをアウトライン化することを推奨します。

デジタルセンドを利用して送稿を行う場合は、すべてのフォントの アウトライン化が必須です。

### 1-4-1.新聞社のフォント対応

新聞広告のデジタル原稿は、新聞社で最終的に出力を行います。 したがってフォントも各新聞社の受け入れ環境に依存します。

新聞社が準備するフォントは、日本語PostScript Type1フォントの うちCID( NewCID )フォントを基本としています。 OCFフォントの使用 は推奨しませんが、やむを得ずOCFフォントを使用する場合には1-4-5. 以降の注意点を参考にして制作してください。

フォントはモリサワ20書体(2-3.参照)を前提としていますが、各 新聞社の「使用可能なフォントー覧」などで現状確認をしてください。 本文組など文字量が多い場合に欧文PostScript Type1フォント を使用するときは事前に各新聞社へ相談してください。

欧文・和文TrueTypeフォント、欧文PostScript Type1フォント、 及び新聞社にないフォントは必ずアウトライン化してください。

### 1-4-2.PostScript Type1フォントとは

PostScript Type1フォントとは、PostScript言語の一部を構成する アウトライン形式のフォントフォーマットです。出力側(PSプリンタや PS-RIP )にアウトラインフォントを持たせることにより、高品位の フォント出力を実現します。

Type1はもともと1byte(8-bit)の欧文フォント形式で、それを複数 束ねて( composite )文字数の多い言語に2-byte( 16-bit )で対応 したのが日本語PostScript Type1フォント形式です。

OCF、CID( NewCID )フォントともに2-byteのPostScript Type1 フォントです。

PostScriptとはアウトライン方式の文字を持ち、網点で中間調を 表現するページ記述言語です。文字・画像・線画データを出力機の 能力に応じた高品質で出力します。Adobe Systems社が1985年に 公開し、PostScript Level2、PostScript3と機能拡張を重ねてDTP 領域での世界的なデファクトスタンダードとなっています。

## 1-4-3.TrueTypeフォントについて

Macintosh上のアウトラインフォントにはTrueTypeもあり、Type1 との混在使用も可能です。しかし高品質、高効率が求められるDTP では、主要アプリケーションがPostScriptの使用を前提として作られて いるため、使いづらいのが現状です。

TrueTypeフォントはType1フォントと同時にRIP処理ができず、 新聞社のシステムも対応していません。TrueTypeフォントを使用する 場合は、必ずアウトライン化してください。

# 1-4-4.外字について

JIS漢字コードで規定されていない外字は、OSやフォントメーカーに よって異なったコードが割り当てられていることがあり、スクリーン フォント(入力側)とプリンタフォント(出力側)が一致しない場合が あります。 こうしたトラブルを避けるために記号(約物)などの外字は アウトライン化してください。

## 1-4-5.CIDフォントフォーマットとは

CID( Character IDentifier )Keyedフォントフォーマットとは日本語・ 中国語・韓国語などダブルバイト文字の組み版などを最適化するため、 Adobe Systems社が1993年に公開した新ファイル管理方式を 指します。同じPostScript Type1フォントですが、従来のOCFに比べ ファイル構造が格段とシンプルになり、フォント開発、インストール、 出力、字体切り替え、文字詰めがスムーズになり、プリンタ解像度制限 が600dpiから1200dpiに変更されています。

NewCIDフォントとは、モリサワOCFではできなかった、グラフィック アプリケーション等でのアウトライン抽出、OSレベルでのOCFフォント との共存(一部アプリケーションでは共存不可)AcrobatでのPDF へのフォントエンベッドを可能とした、モリサワの新しいCIDKeved フォントの名称です。

# 1-4-6.OCFフォントとCIDフォントの混在による問題

OCFフォントとNewCIDフォントは、同一Macintoshにインストール が可能ですが、鉄則として同一ファイル内での混在使用(混植)を してはなりません。

アプリケーションやユーティリティ、出力装置など、それらのバージョン 違いも含めたリソースの組合せが異なる環境では、混植することで 文字詰めの体裁等に様々な差異を発生させる原因となることが あります。こうした理由によりOCFとCID(NewCID)は完全互換では ないと理解してください。

OCFフォントでは含まれていない文字の追加(90年度JISの2文字 84区05点"凜"、84区06点"熙"を追加)によりCID( NewCID )フォント でこの2文字を使用した場合、表示・印字にCID( NewCID )フォント が必要になります。



モリサワのNewCIDフォントでは、文字のデザイン改訂(17書体、 総計100文字)が行われています。因って改訂された文字は、 Macintoshの表示時、及びRIPでの出力時にOCFフォントとの 差異が発生します。



リュウミンL-KL、太ミンA101、見出ゴシックMB31の3書体は WidMax値が変更されているので、WidMax値を縦組みの送りに 使用している一部のアプリケーションではOCFフォントで制作された データをNewCIDフォントで開いた場合に、文章の長さが異なること があります。

WidMax 値の変更

Wid



リュウミンL-KLの場合	<b>見出ゴ</b> MB31 <b>の場合</b>
左段:OCFfont 右段:CIDfont	左段:OCFfont 右段:CID
/idMax 3866 4096	WidMax 3993 4096
思や何てト何	思や何てト何
い夕気、や気	いタ気や気
がイな思タな	がイな思タな
けホくいイく	けポくいイく
な ク 書 が ポ 書	なク書がホ書
いこいけグい	いラいけグい
はくなった	はフたなラた
室に至いフ文	とイズいフ文
でも素は工業	天」 草は 1章
WHILE M	しのかどしが
表をう美のレ	いフレ美のレ
信得アレクイ	友を1しカイ
をてウンをア	月 伊 / いをア
見、ト表得ウ	<b>省</b> く?表得ウ



OCFフォントでサポートされていない異体字への切り替え機能を CID( NewCID) フォントで使用した場合に、異体字を表示・印字する 場合は、CID(NewCID)フォントが必要になります。



# 1-4-7.Illustratorでの詰め処理についての問題

Illustratorのバージョンによっては、利用するフォントフォーマットの 違いにより詰め情報の取得方法に相違があります。それぞれの バージョンでの詰め情報の取得方法は以下のとおりです。

	OCF	NewCID bit	NewCID ATM	OCF NewCID bit 共存	OCF NewCID ATM 共存
Illustrator 5.5J	Dlug in	NewCID font	NewCID fort	NewCID font	
Illustrator 8.0	Plug-In	詰め不可	NewCID Ion	Plug-in	NewCID Ion

モリサワが提供している < Plug-in >、 < New CIDフォント > の詰め 情報は同じ物ですが、Plug-in情報は100ユニット、NewCIDフォント 情報は1000ユニットで定義されている為、換算誤差により詰め結果 に相違が出ます。

Plug-inとNewCIDフォントの詰め体裁の相違(例)

太ミンA101 36pのサンプル

OCF

右段:CIDfont

NewCID



新聞社のシステムによっては一度ファイルを開く場合もあり、トラブルを 回避するためには新聞社側のデジタル原稿の運用やフォント環境について 把握が必要になります。

モリサワフォントにおいては前述の点に注意して制作すれば、ほとんどの 場合OCFフォントとNewCIDフォントの互換性は保たれると考えてください。

日本新聞協会加盟社においては、準備されるフォントは原則としてモリサワ のNewCIDフォントとなっているためモリサワフォントにおける注意点を 中心に記述してありますが、新聞社によっては他メーカーのフォントも使用 できます。ただし、フォントに関する注意点はフォントメーカーにより異なる 部分がありますので、各メーカーのホームページなどでご確認ください。

# 見た目だけではわからない。

# 1-5.DTP**ソフトに関する注意点**(Adobe Illustrator)



# Adobe Illustrator

# 1-5-1.書類設定の注意

新規に作成するファイルの場合、オブジェクトの出力解像度を書類設定 ダイアログボックスで800~1200dpi程度に設定してください。ただし、既存の オブジェクトを他のファイルからペーストしたときの出力解像度はそのオブジェクトの 設定のままですので、属性パレットの < アウトプット > で出力解像度を設定して ください。

ハーフトーンスクリーン情報の値で出力する場合(一部の新聞社では反映でき ません)には書類設定ダイアログボックスで、<プリンタの初期設定値を使う>の チェックをはずしてください。新聞社の設定を使う場合にはくプリンタの初期設定 値を使う> にチェックを入れてください。

> ハーフトーンスクリーン情報を使用しない (新聞社の設定を使用する)ときはチェックを入れる

□ 🛛 🛱 🏹 アウトブッ

アートボード

画面

パス

ラスタライズ

t de la compañía de l

OK

(キャンセル)

カラーモード: CMYK

○スクリーン(72 ppi)

○ 高解像度 (300 p)

● その他 200 pp

☑ アンチェイリアス

□ マスクを作成

○標準(150

解像度

オブション

サイズ: カスタム

単位: ミリメートル

出力解像度: 1200

|| 用紙設定を使用

□ 配置したアートワークを表示

平滑度=プリメタの解像度÷出力解像度

1200

\$

書類設定

高さ:

● 1 ページのみ

□ 長いパスを分割する

用紙の方向: 🛱 🥶

○ 用紙サイズで区分ける

○印刷可能範囲で区分ける

幅: 400 mm

550 mm

# 1-5-2. レイヤー使用上の注意

Illustrator8.0を使用した場合、レイヤーごとにプリントするかどうかの設定機能がありますが、 出力しないレイヤーはすべて削除してください。また、テンプレートレイヤーも使用しないでください。 ファイルのプレビューと出力結果を一致させてください。



ラスタライズ

( OK

キャンセル

カラーモード: モノクロ 2... 🖨

1200 c

○スクリーン (72 ppi)

○ 高解像度 (300 p

○標準(150

□ マスクを作成

● その他

オブショ

解像度

推奨パージョン5.5J/8.0

OK

キャンセル

用紙設定...

# 1-5-3. 色の設定における注意

罫線は必ず線の設定をおこなってください。罫線に塗りのカラーが適用され、線のカラーがなしに設定されている場合、 画面上は見えますが高解像度の出力ではほとんど見えなくなってしまいます。罫線を描く場合は線のカラーを適用し、 線種パレットで線幅を正しく設定してください。

# 1-5-4. パターン、ブラシ、グラデーション

パターンやブラシで描画されたものは、出力エラーを予防する ために分割・拡張コマンドですべてオブジェクトに変換しておく ことを推奨します。

グラデーション、カラーブレンド、グラデーションメッシュを含む ファイルはカラーバンドを生じさせたり出力できない場合があります。 掲載実寸でで200ppi程度の解像度でラスタライズするかEPS画像 として配置してください。

ブラシなどをモノクロ2階調でラスタライズする場合は掲載実寸で 1200ppi程度にしてください。微細な線を使う場合は、出力解像度に よっては再現されないことがあります。線の太さなどに注意してください。



ハーフトーンスクリーンを設定するときは、ハーフトーンスクリーンの設定が埋め込まれているEPSファイルを配置して、 画像を含めて保存してください。(出力時に反映できない新聞社もあります。)

<ライダーを作成>フィルタを使用してハーフトーンスクリーンを設定できますが、 ほとんどの新聞社でこの設定を正確に反映できませんので、使用しないでください。

<色分解設定>にPPDファイルを読み込んでハーフトーンスクリーン値を設定してプリントアウトができますが、 この情報はファイルには保存されません。従ってここでの設定は無効になります。

# 1-5-6.オーバープリントとトラッピング

原稿の内容によっては、オーバープリントやトラッピングの設定が 必要なものもあります。オーバープリントやトラッピングの必要な原稿 にはファイル上で設定してください。

オーバープリントやトラッピング処理が必要な場合、属性パレットや フィルタで設定します。設定には専門的な知識が必要です。適切な 設定がされていなくてもそのまま出力されますので間違いのないように お願いします。



# 1-5-7.ファイルの情報の確認

制作が完了したらく書類情報>でフォント、色の設定、画像などに間違いはないか確認してください。 Illustrator8.0の場合 < リンク情報 >を見ることで画像の確認やリンクの更新なども行えます。



名前·PHOTO\_1.eo マイルの位置: Macintosh HD :Desktop Folder :JAAA\_0430 サイズ・2395447 バイト (2339 3k) 種類·EPSF 作成日: 1999年12月1日(水),23:14 修正日: 1999年12月1日(水),23:14

リンク情報

# 1-5-8.EPSファイルでの保存

ファイルを保存するときにIllustrator EPSを選択して保存してください。 プレビューは < 8-bit (256色) IBM PC > としてください。また、Illustrator9.0以上の場合 < TIFF(8-bit カラー) > を選択してください。 (一部の新聞社へMOなどで送稿する場合は<8-bit Macintosh>とする必要があります。) 互換性は制作したバージョンを選択しくサムネールを作成 > にチェックを入れてください。 🖏 JAAA\_0430 🖨 実画像を配置するには、(1)画像を配置する際に <リンク > チェックボックスをチェックせずに画像を 内包し保存する方法と(2)画像を配置する際に<リンク>チェックボックスをチェックし、保存の際に < 配置した画像を含む>をチェックして画像を内包し保存する方法があります。 どちらの方法でも ファイルの保存: 構いませんが、ハーフトーンスクリーン情報を反映させたい場合は、上記(2)に従ってください。 JAAA15D\_4C.eps Illustrator8.0の<ポストスクリプト>は<レベル2>を選択してください。 ファイル形式: [Illustrator EPS ] + また、Illustrator5.5Jの場合は<日本語版のファイル形式を使用>にもチェックを入れてください。 データ作成開始から完成まで同一バージョンで作業するのが原則です。下位バージョンに 下げて保存すると、上位バージョンにある新機能は失われて保存されるので注意してください。 校正刷りに使用したトンボは必ず削除してください。

完成した製版データ(ファイル)には 必ずロックを掛けてください。

ここに書かれている設定をすべて使用する 必要はありません。オーバープリントや トラッピングなどは、必要な場合に適切な方法で 設定する能力が求められます。 色の設定やファイル形式などの基本的な 設定を守っていただくことが第一です。









# 目から鱗。QuarkからEPS。

# 1-6. DTP**ソフトに関する注意点**(QuarkXPress)



# 1-6-1.書類設定の注意

広告原稿サイズはドキュメントサイズよりわずかに小さく制作してください。 QuarkXPressはEPS保存するとわずかに拡大され、多くのRIPでは左上を原点(始点) としてデータを認証する場合が多いために右罫や下罫が欠ける場合があります。

文字の修飾機能を使用した場合、画面上では太字などの効果が表示されますが、 出力結果に反映されませんのでこの設定を行わないようにしてください。

出力エラーを予防するために不要な文字や画像は削除して、画像ボックスやテキスト ボックスの設定にあるく画像を印刷しない><印刷しない>という機能は使用しないで ください。

QuarkXPress3.3J/4.0Jではサブバージョンが異なると特定の文字の組み方で 改行位置が変わる場合がありますので注意してください。

	画像ボッ	クスの設定	
左肩の横座標(X):	500	横比率:	100%
左肩の縦座標(Y):	100	縦比率:	100%
幅(W):	250	横オフセット:	
高さ(H):	150	縦オフセット:	
ボックスの角度:	0.	画像の角度:	0.
ボックスの傾斜:	0.	画像の傾斜	0.
角の半径:	0 mm	<sub>┏</sub> バックグラウンド	
□画像を印刷しない	3	カラー: な	6
□印刷しない		S/ ± = F: ▶ 10	00%
	OK	(キャンセル)	

推奨バージョン3.3J/4.0J/4.1J

### テキストボックスの設定 行目のベースライン 左肩の横座標(X): 0 mm オフセット 左肩の縦座標(Y): 最小値: アセント 幅(W): -ボックス内の行位置-高さ(H): 配置・ 左揃え ボックスの角度: 段落間スペース(≦) ボックスの(解料: 角の半径 バックグラウンド ニ コラム数: 白 カラー: コラム間隔: シェード: 🕨 100% 1.411 Q □印刷しない (キャンセル) ОК

## 1-6-2. 色の設定

スミ1色(モノクロ原稿)の場合はブラックを使用してすべてのオブジェクトを設定してください。

4色カラー原稿の場合はCMYKで設定してください。カラーパレットで色を作成する場合、

<モデル>を<CMYK>にしてプロセスカラー分解には必ずチェックを入れてください。

スミ+特色(単色原稿)を使う場合は新聞社指定が特になければ、原則的にC(シアン)版を特色として設定してください。 この場合もプロセスカラー分解には必ずチェックを入れてください。特色は使用できません。



# 1-6-3. ハーフトーンスクリーン

ハーフトーンスクリーンを設定するときは、ハーフトーンスクリーンの設定が埋め込まれ ているEPSファイルをQuarkXPressの画像ボックスに読み込んでください。(出力時に 反映できない新聞社もあります。)

<用紙設定オプション>でハーフトーンスクリーンの設定を行うことができますが、 EPSファイルで保存するとこの設定はファイルに埋め込まれず、従ってここでの設定は 無効になります。

用紙設定オプシ	aン		ОК
QUARK	□横反転 □パターン反転 □プリント領域拡プ □ダウンロード可能	て(ダウンロード可能フ ゼフォントの制限なし	(キャンセル) オントが減少)
[ <sup>                                    </sup>	値の設定 線数 (1pi)	角度(°)	網点形状
シアン	65 🔺	105	ドット
シアン マゼンタ	65	105 75	ドット
シアン マゼンタ イエロー	65 65 65	105 75 90	イ ビ ド レ ト イ ビ ド フト

30%

0%

0%

 $\diamond$ 

 $\diamond$ 

**4** 

# 1-6-4.オーバープリントとトラッピング

原稿の内容によっては、オーバープリントやトラッピングの設定が必要なものもあります。 オーバープリントやトラッピングの必要な原稿にはファイル上で設定してください。 オーバープリントやトラッピングの設定は<トラップ環境設定> <トラップ編集>

<トラップパレット>の3通りの方法があります。 オーバープリントやトラッピング処理が必要な場合の 設定には専門的な知識が必要です。適切な設定が されていなくてもそのまま出力されますので間違いの ないようにお願いします。



# 1-6-5.ファイルの情報の確認

制作が完了したら<ドキュメント情報> <フォント使用状況> < 画像使用状況>などで フォント、画像などに間違いはないか確認してください。

7+21	使用状况	
	置換: 「⊠フォント 「見出ゴMB31	
<ul> <li>文字節6</li> <li>○ 荒学 (1)</li> <li>○ 「ジック」</li> <li>○ 「ジョンク」</li> <li>○ 「「ジック」</li> <li>○ 「ジョンク」</li> <li>○ 「ジョンク」</li> <li>○ 「「ジック」</li> <li>○ 「ジョンク」</li> <li>○ 「「ジョンク」</li> <li>○ 「ジョンク」</li> <l< th=""><th><ul> <li>○ 文字飾り</li> <li>○ 標準</li> <li>二 ホ*¬µ,*</li> <li>□ グリック</li> <li>□ アリ・ライク</li> <li>□ シャト*ウ</li> <li>□ ストライクスル-</li> </ul></th><th>アンダー・ラ フート"アン スモールキャッシ 上付き</th></l<></ul>	<ul> <li>○ 文字飾り</li> <li>○ 標準</li> <li>二 ホ*¬µ,*</li> <li>□ グリック</li> <li>□ アリ・ライク</li> <li>□ シャト*ウ</li> <li>□ ストライクスル-</li> </ul>	アンダー・ラ フート"アン スモールキャッシ 上付き
検索 置換後検索		て置す

# 1-6-6.出力ファイルの収集

<出力ファイルの収集>を行ってドキュメントとともに貼り込まれた画像ファイルを同一フォルダーに まとめてください。

# 1-6-7.EPSファイルでページ保存するときの設定

製版された最終ドキュメントデータからEPSファイルでページ保存したデータを送稿してください。 比率 縮小率)<100%>、ブリード<0mm>、フォーマット<Macカラー>「4色カラー/スミ+特色

OPI < 画像を含む>、ターゲット <なし> に設定してください。(一部の新聞社へ MOなどで送稿する場合はプレビューを < PICT > とする必要があります。) 完成した製版データ(ファイル)には 必ずロックを掛けてください。



ここに書かれている設定をすべて使用する必要はありません。ハーフトーンスクリーンの操作は 対応できない新聞社もありますので、正確な知識のもとでの使用が求められます。 また、オーバープリントやトラッピングも必要な場合に適切な方法で設定する能力が求められます。 色の設定やファイル形式などの基本的な設定を守っていただくことが第一です。



# 写真?イラスト?いいえ、画像ファイル。

# 1-7. 画像データに関する注意点(Adobe Photoshop)



# Adobe Photoshop

# - 推奨バージョン4.0J/5.0/5.5

# 1-7-1. ハーフトーンスクリーン

写真などの画像を網点で再現する場合(1)新聞社のデフォルト値を使用する 方法と(2)Photoshopでファイルに設定を埋め込む方法の2通りの方法があります。 用紙設定のハーフトーンスクリーン・ダイアログを開き、下記の通り設定してください。

ブリンタ: Printer ¢	8.6 (219)
ハーフトーンスクリーン…     キャブジョン     ラヘ       トランスファ関数…     キャリブレージョンパー     キオ            留最色…     コーナートンボ     セン            比ジストレージョンマーク     ポストスクリブトレベル 2 補間            数ちしろ…     一 腺面裏(エマルジョンダウン)	<ル ∮出力 /タートンボ
 (キャンセル)	ОК

# 1-7-3. プロファイルに関する初期設定(Photoshop5.0以降の場合)

PhotoshopEPSデータを画像ファイルとして使用する場合、プロファイル設定は <プロファイルの埋め込み>のチェックをすべてはずし、プロファイルを埋め込まない 設定にしてください。

現時点ではプロファイルを使用したカラーマネジメントには対応できない場合が ほとんどですが新聞社と個別に相談することを否定するものではありません。

# 1-7-4.ファイルを開く際の注意(Photoshop5.0以降の場合)

Photoshop5.0の初期設定値によっては、ファイルを開く際にオリジナルと異なる色にデータそのものが変換されてしまう場合があります。

<プロファイルの不一致>ダイアログが表示された場合、<変換しない> ボタンをクリックして開いてください。







アキュレートスクリーンを使う

ハーフトーンスクリーンについて各新聞社の対応はまちまちです。モノクロ、カラーとも、網点の線数・角度・形状(複数使用を含む)など 広告表現上の技術に対しどこまで対応できるのか、事前に新聞社へ個別の相談が肝要です。

ロアキュレートスクリーンを使う

## 1-7-2.UCRの設定

□ アキュレートスクリーンを使う
 ☑ すべての版に同じ網点形状を使う

Photoshopで色分解を行う場合、カラー設定の < CMYK設定 > ダイアログ (4.0Jでは色分解設定)の中の < 色分解の種類 > でUCRを選び、 < インキの 総使用量の制限 >を240%程度に設定してください。

新聞印刷では、高速輪転オフセット印刷機を使用するためにインキの粘度は 低く、また、インキを吸いやすい用紙を使用しています。そのため、一般的な商業 印刷に比べてインキの総使用量を低く設定しなければなりません。

こうした新聞印刷の特性により、階調の50%前後ではインキのつぶれ(ドット ゲイン)が顕著に表れます。その結果カラーの場合20~25%程度(モノクロで 15~20%程度)階調が上がって再現され、場合によってはそれ以上に上がる ことがあります。各新聞社に問い合わせのうえ、データの調整を行ってください。



# 1-7-5.ファイルフォーマット

画像データのフォーマットは、PhotoshopEPS形式のファイルにしてください。 EPSファイルのプレビューは < TIFF(8 bit/pixels)>(一部の新聞社へMOなどで送稿する 場合は < Macintosh(8 bit/pixels)>)、エンコーディングは < バイナリー > に、(Photoshop 4.0Jの場合DCSは < オフ > に)設定してください。

スクリーン線数、スクリーン角度、網点形状を設定する場合はハーフトーンスクリーン情報を 含めて保存してください。(意図的にハーフトーンスクリーン情報をコントロールする場合は 事前に新聞社と相談してください。)

トランスファ関数を使用すると、画像とフィルム間に生じるドットゲインの補正ができますが 新聞社によって適正値は異なりますので、トランスファ関数は含めないでください。 ポストスクリプトカラー管理も含めないでください。

MOやCD-Rなどメディアによる送稿だけでなく、デジタルセンドを利用した通信による 送稿でも画像圧縮は使用しないでください。

DCS形式、OPI形式のファイルは使用できません。また、Digimarcも使用しないでください。

# 1-7-6.モノクロ2階調の保存

ロゴタイプ・マーク・線画などをスミ100%で使用する場合、画像モードを<モノクロ2階調> にして解像度を1200ppi程度に設定してください、微細な線を使う場合は、出力解像度によっては 再現されないことがあります。線の太さなどに注意してください。

背景を生かしたいときは、ファイルを保存する際に < 白色部分を透明として扱う> に チェックを入れてください。





1-8.JAAA新聞原稿	镐<製牌	反依頼書 > 見本	2	ver1.5
広告会社 JAAA広告	担当者	広告太郎	電話番号 00-0 電子メールアドレス	000-0000 ファックス番号 00-0000-0000 xxxx@xxxxxxx
<b>制作会社 JAAA</b> 制作	担当者	制作次郎	電話番号 00-0 電子メールアドレス	000-0000 <sub>ファックス番号</sub> 00-0000-0000 xxxx@xxxxxx
広告主 JAAA自動。	車	商品 JAAA-	WAGON	揭載紙 JAAA新聞
記入日2002年 4月	1日	入稿日2002年	4月2日	送稿日2002年 4月15日
<b>原稿サイズ</b> 全 1	5段	/ 天地	×左右    n	nm ✔ 組寸 刷寸 2連版
色数 スミ1色( そ	ミノクロ原稿	) ✔4色カラー原稿	<i>ス</i> ミ+特色 <	>( 単色原稿 )

OS	KT7.5.x MacOS7.6.x MacOS8.0 MacOS8.1 MacOS8.5.x MacOS8.6 MacOS9.0.x MacOS9.1.x
	✓Illustrator バージョン 5.5J ✓8.0.x 9.0.x
アプリケーション	QuarkXPress パージョン 3.3J 4.0.xJ 4.1J
	✓Photoshop バージョン 3.0J 4.0.xJ ✓5.0.x 5.5 6.0.x
ATM <b>バージョン</b>	3.8x 3.9.x 🗸 4.0.x 4.5.x 4.6.x
	LリュウミンL-KL リュウミンR-KL リュウミンM-KL リュウミンB-KL リュウミンH-KL リュウミンU-KL M中ゴシックBBB B太ミンA101 B太ゴB101 見出ミンMA31 見出ゴMB31 ゴシックMB101-B ゴシックMB101-H ゴシックMB101-U 新ゴL 新ゴR 新ゴM 新ゴB 新ゴU Lじゅん101
フォント	<ul> <li>✓LリュウミンL-KL リュウミンR-KL ✓JュウミンM-KL リュウミンB-KL リュウミンH-KL</li> <li>✓CID</li> <li>リュウミンU-KL M中ゴシックBBB B太ミンA101 ✓B太ゴB101 見出ミンMA31</li> <li>見出ゴMB31 ✓ゴシックMB101-B ゴシックMB101-H ✓ゴシックMB101-U 新ゴL</li> <li>新ゴR 新ゴM 新ゴB 新ゴU Lじゅん101</li> </ul>
	その他( )

チェック事項	

- ▶
  原稿サイズを確認した ▶校正刷リに使用するトンボにはCMYKそれぞれ 100%の指定がされている ✔貼り込んだ(配置した)素材のファイル名を変更していない ✓」ンクしているファイルは1フォルダにまとまっている ▶●「●「●」をすっている ✓画像、オブジェクト、フォントすべてプロセスカラー(CMYKまたはK)を 使用している ✔プラグインやXTensionなど出力側にインストールを必要とするものは 使用していない ✓TrueTypeフォントは使っていない
- ✓OCFフォントとCIDフォントを混在して使用していない ✓トラッキングとカーニングを同じテキストに使用していない ▶ 使用できないフォントはすべてアウトライン化または ラスタライズしてある ✔不要なオブジェクトや文字などを削除した ▶ 孤立点の削除を行った ✔不要なレイヤーを削除した ✔不必要なグループ化を解除した ✔ガイドラインを削除した ✓ウィルスチェックを行った

# **備考** PHOTO\_1はPhotoshopのネイティブデータです。 カゲ版のレイヤーは実画像として生かしてください。

		現在のファイ
ファイル名	JAAA0425	WAGON15
入稿メディア	3.5MO( 128MB	) 3.5MQ(230MB)
Illustrator	ファイル形式	✓IIIustrator IIIustratorEP
QuarkXPress	ファイル形式	QuarkXPress EPS <
	ファイル形式	Photoshop
	画像の内容	▶ アタリ画像(添付透過原稿
Photoshop	エンコーディング	✔/バイナリ JPEG
	UCR	▶ 設定していない 設定済
	画像解像度	✓72ppi 144ppi ✓20
	トンボ	▶ 校正用に使用している 使
	オーバープリント	▶ 設定していない 設定済
	トラッピング	▶ 設定していない 設定済
その他		▶ 設定していない
		意図的に設定済み
	スクリーン	線数 50lpi 60lpi
		角度 45度 90度
		網点形状 円 菱形

以下の内容に従って製版作業

### 製版スタッフに対

ファイル名	0425JAAA	自動車WAGON15D_4	
送稿メディア	3.5MO( 128MB	) 3.5MO( 230MB )	
DS Checker	検査のみ行う	✔デジタルセンド用に検査・認証	
Illustrator	ファイル形式	IllustratorEPS < 配置ファイル保存	
QuarkXPress	ファイル形式	EPS < 画像を含む >	
	ファイル形式	PhotoshopEPS	
	画像の内容	実画像	
Photoshop	エンコーディング	バイナリ	
	UCR	▶ ● 分解時に設定する ジ	
	画像解像度	✔200ppi その他(	
	トンボ	▶ 校正用に使用しているトンボを	
	オーバープリント	▶ 製版時の判断で設定する	
	トラッピング	▶ 製版時の判断で設定する	
		✓新聞社の設定値を使用する	
		A自動車WAGON15D         MB)       3.5MQ(230MB)         MB)       ✓デジタルセンド用に検査・認         IllustratorEPS < 配置ファイル/	
その他	ハーフトーン	製版時に設定する	
	スクリーン	線数 50lpi 60lpi	
		角度 45度 90度	
		網点形状 円 菱形	
		入稿時の設定を変更しない	

製版スタッフへのデータ入稿時の指示・確認用シートです。制作会社 広告会社 製版会社とい 努めてください。同じ項目でチェックが重なる場合や、すべてがチェックされない場合もあり得ます。 してご利用ください。

レロネシー       アクイル 保存 >         画像を含む >       28         客       TIFF         3点/添付反射原稿       点)         水       フォント         フォント       フォントはすべてアウトライン化済み         み       フォント         フォント       フォントはすべてアウトライン化済み         み       フォント         フォント       フォントはすべてアウトライン化済み         み       フォント         ジロ()       シpi         電していない       フォント         ブライン       四角         クロス       第         などとめてください。       ビー         する指示       ()         ()       ()         ノデータ書き出し / DS簡易ゲラを添付する         こ>       ()         ()       ()         ()       ()         ()       ()         ()       ()         ()       ()         ()       ()         ()       ()         ()       ()         ()       ()         ()       ()         ()       ()         ()       ()         ()       ()         ()       ()         ()       ()      <					
2D-R       その他()         3       紀置ファイル保存>         画像を含む>       **         **       TIFF         3       点 / 添付反射原稿       点 ) ◆実画像         み					
S<<	D-R <del>7</del> 0	 D他(		)	
	<u></u>				
2S       TIFF         3 点 / 添付反射原稿       点 ) √実画像         み					
3 点 / 添付反射原稿 点) ◆実画像 み )ppi その他( )ppi 用していない フォント フォントはすべてアウトライン化済み み み み み み み み み み み み み み	PS TIFF				
み     )ppi     その他()     )ppi       用していない     フォント     フォントはすべてアウトライン化済み       み     み       み     み       み     フォント     フォントはすべてアウトライン化済み       み     み       ろ     ろ       55lpi     85lpi     100lpi       その他()     度 / Y     度 / K     度 )       精円     ライン     四角     クロス       業を進めてください。          する指示          ()     /データ書き出し / DS簡易ゲラを添付する        こ>          病時の設定を変更しない         入稿時の設定を変更しない         入稿時の設定を変更しない         な意図的に使用する         65lpi     85lpi     100lpi	<u>3</u> 点/添付	反射原稿	点)		
み       シppi       その他( )ppi         用していない フォント       フォントはすべてアウトライン化済み         み       み         ろ       ろ         S5lpi 85lpi 100lpi その他( )pi         その他( C 度 / M 度 / Y 度 / K 度 )         楕円 ライン 四角 クロス         業を進めてください。         する指示         C .eps         C .eps         C .eps         D-R その他( )         /データ書き出し / DS簡易ゲラを添付する         こ>         痛時の設定を変更しない         次pi         1         シpi         小前時の設定を変更しない         入稿時の設定を変更しない         本6回的に使用する         65lpi 85lpi 100lpi その他( )         シ	0 /// / ///				
Pippi     その他()     )ppi       用していない     フォント     フォントはすべてアウトライン化済みみ       み	 み				
用していない     フォント     フォントはすべてアウトライン化済み       み       み       あ       み       55lpi     85lpi     100lpi     その他( )pi       その他(C 度/M 度/Y 度/K 度)       楕円     ライン 四角 クロス       業を進めてください。       する指示       C .eps       2D-R     その他( )       /データ書き出し / DS簡易ゲラを添付する       ま>         病時の設定を変更しない       次前       フォント     ✓すべてのフォントをアウトライン化する       入稿時の設定を変更しない       入稿時の設定を変更しない       人稿時の設定を変更しない       大稿時の設定を変更しない		他(	iqq		
み み み み 35lpi 85lpi 100lpi その他( )pi その他( C 度 / M 度 / Y 度 / K 度) 楕円 ライン 四角 クロス <b>業を進めてください。</b> <b>する指示</b> C .eps C .eps	=====================================	フォント	 フォントはす		ン化済み
み       55lpi     85lpi     100lpi     その他( )       その他( C 度 / M 度 / Y 度 / K 度)     楕円 ライン 四角 クロス       業を進めてください。       する指示       C .eps       .ppi       .ppi       .ppi       .ppi       .ppi       .ppi       .ali       .ppi       <	<u>み</u>				
351pi     851pi     1001pi     その他( ) )pi       その他( C 度 / M 度 / Y 度 / K 度)     有円 ライン 四角 クロス       業を進めてください。       する指示       C .eps       CD-R その他( )       /データ書き出し / DS簡易ゲラを添付する       ま>              株時の設定を変更しない       次pi       別除する     フォント       グすべてのフォントをアウトライン化する       入稿時の設定を変更しない       入稿時の設定を変更しない       入稿時の設定を変更しない	 み				
S5lpi       85lpi       100lpi       その他( )         その他( C 度 / M 度 / Y 度 / K 度)         楕円       ライン 四角 クロス         業を進めてください。         する指示         C .eps         CD-R その他( )         /データ書き出し / DS簡易ゲラを添付する         こ>         株時の設定を変更しない         次pi         判除する         フォント       ✓ すべてのフォントをアウトライン化する         入稿時の設定を変更しない         入稿時の設定を変更しない         人稿時の設定を変更しない         大稿時の設定を変更しない         大稿時の設定を変更しない					
S5lpi       85lpi       100lpi       その他( )       )pi         その他( C 度 / M 度 / Y 度 / K 度)       有円 ライン 四角 クロス         業を進めてください。         する指示         C .eps         CD-R その他( )         /データ書き出し / DS簡易ゲラを添付する         こ>         応時の設定を変更しない         次pi         対除する         フォント       ✓すべてのフォントをアウトライン化する         入稿時の設定を変更しない         入稿時の設定を変更しない         入稿時の設定を変更しない         た意図的に使用する         65lpi       85lpi         65lpi       85lpi					
Eor他(C 度/M 度/Y 度/K 度) 楕円 ライン 四角 クロス <b>業を進めてください。</b> <b>する指示</b> C .eps CD-R その他( ) /データ書を出し / DS簡易ゲラを添付する E> 稿時の設定を変更しない 次pi 劉除する フォント ✓すべてのフォントをアウトライン化する 入稿時の設定を変更しない 入稿時の設定を変更しない 入稿時の設定を変更しない と た意図的に使用する 651pi 851pi 1001pi その他/ Yni	65lpi 85lpi	100lpi	その他(	)	pi
楕円 ライン 四角 クロス          業を進めてください。         する指示         C .eps         CD-R その他()         / データ書き出し / DS簡易ゲラを添付する         こ>         株晶時の設定を変更しない         )pi         1)pi         1)除する         フォント         ✓すべてのフォントをアウトライン化する         入稿時の設定を変更しない         人稿時の設定を変更しない         を意図的に使用する         651pi 851pi 1001pi その他/ Nri	その他( C	度 / M	度 / Y	度 / K	度)
業を進めてください。          する指示         C       .eps         CD-R       その他()         / データ書き出し / DS簡易ゲラを添付する         こ>         「稿時の設定を変更しない」         )ppi         割除する       フォント         グすべてのフォントをアウトライン化する         入稿時の設定を変更しない         入稿時の設定を変更しない         入稿時の設定を変更しない         た意図的に使用する         65lpi       85lpi         100lpi       その他()	楕円 ライン	ン 四角	クロス		
する指示       C     .eps       CD-R     その他()       / データ書き出し / DS簡易ゲラを添付する       こ>              れ稿時の設定を変更しない             かpi             如除する        フォント       グすべてのフォントをアウトライン化する       入稿時の設定を変更しない        人稿時の設定を変更しない        人稿時の設定を変更しない        を意図的に使用する       65lpi     85lpi       100lpi       その他()	業を進めてく	ださい。			
する指示         C       .eps         CD-R       その他()         / データ書き出し / DS簡易ゲラを添付する         こ>					
する指示         C       .eps         CD-R       その他()         / データ書き出し / DS簡易ゲラを添付する         こ>         編時の設定を変更しない         次pi         別除する       フォント         グすべてのフォントをアウトライン化する         入稿時の設定を変更しない         入稿時の設定を変更しない         大稿時の設定を変更しない         大稿時の設定を変更しない         大稿時の設定を変更しない         大稿時の設定を変更しない         ション         ケョン         ション         人稿時の設定を変更しない         ション					
9 S拍示 C .eps CD-R その他( ) /データ書き出し / DS簡易ゲラを添付する E> 稿時の設定を変更しない 次pi 割除する フォント ✓すべてのフォントをアウトライン化する 入稿時の設定を変更しない 入稿時の設定を変更しない 入稿時の設定を変更しない た意図的に使用する 65lpi 85lpi 100lpi その他( )ni					
( <u>C</u> .eps 2D-R その他() / データ書き出し / DS簡易ゲラを添付する E> 稿時の設定を変更しない ) かすべてのフォントをアウトライン化する 入稿時の設定を変更しない 入稿時の設定を変更しない 入稿時の設定を変更しない た意図的に使用する 651pi 851pi 1001pi その他() \ni	9 る指示				
2D-R その他( ) /データ書き出し / DS簡易ゲラを添付する >> .稿時の設定を変更しない )ppi 別除する フォント ✓すべてのフォントをアウトライン化する 入稿時の設定を変更しない 入稿時の設定を変更しない 入稿時の設定を変更しない 入稿時の設定を変更しない た意図的に使用する 651pi 851pi 1001pi その他( )ni	C .eps	- 41 4			
/ テータ書き出し / DS間易ケラを添付する   こ>   .稿時の設定を変更しない   》ppi   別除する   フォント   グすべてのフォントをアウトライン化する   入稿時の設定を変更しない   入稿時の設定を変更しない   ん稿時の設定を変更しない   を意図的に使用する   651pi 851pi 1001pi その他()		り他(		)	
-> 稿時の設定を変更しない )ppi	/ テータ書き出し	」/ DS間易 <sup>.</sup>	ケフを添付す	5	
稿時の設定を変更しない )ppi 削除する フォント ✓すべてのフォントをアウトライン化する 入稿時の設定を変更しない 入稿時の設定を変更しない を意図的に使用する 651pi 851pi 1001pi その他( )ni	2 >				
<ul> <li>.稿時の設定を変更しない         )ppi     </li> <li>別除する         フォント         グすべてのフォントをアウトライン化する         入稿時の設定を変更しない         入稿時の設定を変更しない         入稿時の設定を変更しない      </li> <li>を意図的に使用する         65lpi 85lpi 100lpi その他() \ni     </li> </ul>					
稿時の設定を変更しない 》ppi 割除する フォント ✓すべてのフォントをアウトライン化する 入稿時の設定を変更しない 入稿時の設定を変更しない を意図的に使用する 65lpi 85lpi 100lpi その他( )/ni					
<ul> <li>         ・         ・         ・</li></ul>					
(高時の設定を変更しない     )ppi     )pi     il除する     フォント     ✓すべてのフォントをアウトライン化する     入稿時の設定を変更しない     入稿時の設定を変更しない     を意図的に使用する     65lpi 85lpi 100lpi その他( )Ini	病はあれらされ	(本市) +>> >>			
	、荷時の設定を多	変更しない			
10味9 る Jオント ● 9 へ Cのフォントをパットライン化9 る 入稿時の設定を変更しない 入稿時の設定を変更しない           入稿時の設定を変更しない           を意図的に使用する           651pi         851pi         1001pi         その他( ))ni			4		
<ul> <li>入稿時の設定を変更しない</li> <li>入稿時の設定を変更しない</li> <li>を意図的に使用する</li> <li>65lpi 85lpi 100lpi その他( )ni</li> </ul>			うべてのノオ	ンドをパワトライ	121295
<ul> <li>入稿時の設定を変更しない</li> <li>を意図的に使用する</li> <li>65lpi 85lpi 100lpi その他( )ni</li> </ul>	入稿時の設定	定を変更しる			
を意図的に使用する 651pi 851pi 1001pi その他( )Ini	入禍時の設定	正を変更しる			
を意図的に使用する 65lpi 85lpi 100lpi その他( )vpi	, , ,				
651pi 851pi 1001pi その他の Vini	を意図的に使用	する			
	651pi 851r	oi 1001n	i <del>ア</del> の曲		)lpi
その他(C 度/M 度/Y 度/K 度)	その他(C			、 度 / K	//P' 度)
楕円 ライン 四角 クロス	楕円 ラ	で 四角	通 クロス	~ · · ·	~ /
	いう流れが理想的です				

# 安全・確実なデータを送ろう。

# 1-9. 掲載データ送稿時における注意点

# 1-9-1.ファイル名の付け方

ファイル名は、合計27文字以内の半角英数字か、合計13文字以内の全角の漢字・ひらがな・カタカナの使用を推奨します。 組み合わせて使用しても構いません。ファイル名の最後には必ず拡張子「.eps」を付けてください。 半角カタカナは使用できません。また、半角アンダーバー「」」以外の記号も使用できません。 誰が見てもわかりやすいファイル名を付けることが大切です。



1-9-3、送稿する掲載データは1ファイル

新聞社へ送稿する掲載データは、画像を含めたEPSファイルのみ です。貼り込まれた(配置された)元の画像ファイルは削除してください。 (一部の新聞社では貼り込まれた画像ファイルも必要になります。)

# 1-9-4.使用するメディアについて

送稿メディアのフォーマットはMac OS 標準(HFS)の3.5インチMO(12 230MB )またはCD-Rを使用してください。Mac OS 拡張フォーマット(HFS 使用しないでください。また、データ容量が大きい場合には新聞社にご相談

MOにはファイル名、広告主、掲載媒体、掲載予定日、サイズ、広告会社な ラベルを貼ってロックを掛けてください。また、3.5インチ230MBのOW(オー 規格のMOは使用しないでください。

CD-Rの場合はケースに同様のラベルを貼り、ディスク本体には油性マ ファイル名を記入してください。記録方式はディスクアットワンスなど追加の できない方式にしてください。

原則として1掲載データにつき1メディアを使用し不要なファイルは入れな ください。ただし、各新聞社との相談により掲載内容によっては複数の原利 1メディアに入れることも可能です。

ファイル、メディアは必ずウィルスチェックをしてください。



の掲載情報を記入してください。

ファイルやメディアへの書き込みは行わないようにしてください。 修正はデータ制作者まで戻すことを原則としてください。



28MB,	ファイル名			
S Plus )は	広告主			
炎ください。 を明記した	掲載媒体	エリア		
バーライト)	揭載予定日		朝刊	夕刊
ジックで	サイズ	色数		
記録が	広告会社			
記して	▲ 記録不可			
	◀ 記録可			
	ラベルの例	プリントアウトまたはコピー	-してご利	 用ください。

# デジタル送稿のゴールを目指して。

# 1-9b. デジタルセンドのオンライン送稿に関する注意点

## 1-9b-1.デジタルセンドのサービスについて。

2001年10月より(株)デジタルセンドが構築したネットワークと システムを利用したオンラインによる新聞広告原稿を送受信する サービスが始まりました。

具体的には、デジタルセンドセンターサーバを介して広告会社と 新聞社を繋ぎ、掲載データと送稿予定情報(従来のゲラ書きに相当) を送受信します。

掲載データを制作するまでの注意点はこれまでと変わりませんが、 フォントはすべてアウトライン化してください。

不備のないスムーズな送稿を行うために(株)デジタルセンドでは < DS Checker > による検査 / 認証が行われていない原稿は 原則として受け入れません。

# 1-9b-3.掲載データは < DS Checker > で検査 / 認証

DS Checkerとは掲載データに不備がないか検査を行い、正しい データであることを認証するための補助を行うソフトウェアです。 検査項目は社田本新聞協会及び社田本広告業協会の ガイドラインに基づいています。

DS Checkerで認証された掲載データには原稿IDとプレビュー 画像が付加され、このIDによって送稿予定情報とのリンクを行い、 プレビュー画像によって内容を確認できます。

さらに掲載データの内容を確認するために「DS簡易ゲラ」を プリントできます。このときDS簡易ゲラには掲載に関する情報と原稿 IDを示すバーコードが余白にプリントされます。

送稿担当者は運用端末を使用して、掲載紙名/掲載予定日/ サイズ / 色数 / 広告主名 / 切替等の送稿予定情報を登録します。 登録された送稿予定情報に対して、送稿する掲載データを指定します。 (指定する方法:DS簡易ゲラからバーコードリーダーにより送稿する 掲載データを指定します。)指定された掲載データは、プレビュー画像を 使用してDS簡易ゲラと照合し、内容が一致しているか確認してください。 準備を終えたら送信端末に送信の指示を出します。 新聞社には(1)掲載データ、(2)送稿予定情報、(3)プレビュー画像が 送られます。



1-9b-6.DS簡易ゲラ DS簡易ゲラはあくまで原稿の内容確認のためのプリントアウトであり、 刷り見本となるものではありません。 カラー原稿の場合は、原則として色見本となるウェットプルーフ (念校)が必要です。

急激に進展するデジタル化・ネットワーク化がもたらすビジネス環境の変革の中、新聞広告業界もED陸推進(新聞広告の電子送稿を導入)することで「新聞広告の 株式会社 デジタルセンド 付加価値向上」と「新聞社・広告会社(新聞広告業界)の効率化」を図る必要があるという考えのもと、株式会社電通・株式会社博報堂・株式会社共同通信社 の3社が発起人となり、その考えに賛同した社団法人日本新聞協会・社団法人日本広告業協会に加盟する全国の新聞社69社、通信社2社、広告会社47社が 株主となって設立。新聞広告の電子送稿を推進することを目的とし、新聞広告の電子送稿に必要な送受信装置とワークフローモデルを開発。



# 1-9b-5.DS端末によって送稿予定情報を入力後送稿

	1-10.JA	AA <b>新聞原稿&lt;掲載</b> 場載情報	データ確	認書>見本	ver1.5
<b>ファイル名</b> 042	5JAAA自動車W	VAGON15D_4C.eps	<b>掲載媒体</b> J	AAA新聞 I	リア
広告主 JAA	A自動車	商品 JAAA-WAGG	ON	広告会社 JAAA	広告
送稿日 2002	年 4月 15日	<b>掲載予定日</b> 2002 年	4月 2	5日 🖍	朝刊 夕刊
送稿メディア	✓3.5MQ( 128MB )	3.5MO( 230MB ) CD-R	その他(		)
原稿サイズ	全15段	/ 天地 ×左右	mm	n 🖌 組寸 刷寸	2連版
色数	スミ1色(モノクロ原稿	) ✔4色カラー原稿 スミ+4	持色 <	>(肖	单色原稿 )
DS Checker	▶ 検査済み ▶ デジ	タルセンド用にデータ書き出し	✓DS簡易ゲ		
		ファイル情報		_	
	✓Illustrator ✓	<b>ヾージョン</b> 5.5J <b>✓</b> 8.0.x	9.0.x		
   アプリケーション	QuarkXPress	<b>バージョン</b> 3.3J 4.0.xJ	4.1.J		
	Photoshop	<b>バージョン</b> 3.0J 4.0.xJ	✓5.0.x 5.4	5 6.0.x	
	Lリュウミ リュウミン OCF 見出ゴM 新ゴR	vL-KL リュウミンR-KL U-KL M中ゴシックBBB B31 ゴシックMB101-B 新ゴM 新ゴB 新ゴU	リュウミンM-KL B太ミンA101 ゴシックMB10 <sup>7</sup> Lじゅん10	- リュウミンB-KL B太ゴB101 見 I-H ゴシックMB101- 1	リュウミンH-KL 出ミンMA31 U 新ゴL
フォント	Lリュウミ CID 見出ゴM 新ゴR	ッL-KL リュウミンR-KL U-KL M中ゴシックBBB B31 ゴシックMB101-B 新ゴM 新ゴB 新ゴU	リュウミンM-KL B太ミンA101 ゴシックMB10 <sup>7</sup> Lじゅん10	- リュウミンB-KL B太ゴB101 見 I-H ゴシックMB101- 1	リュウミンH-KL 出ミンMA31 U 新ゴL
	その他 (			) ンカントはすべて	アウトライン化済み
	オーバープリント	▶ 設定済み 設定しな	il 1		
その他	トラッピング	▶ 設定済み 設定しな	il 1		
	ハーフトーンスクリーン	▶ ▶ 新聞社の設定値を使用す	-3 <i>フ</i> ァイ	ルの設定値を意図的に	使用する
備考					
		チェック事項		制作担当	送稿担当
ファイル名は半		全角の日本語13文字以内)で「.e データが残っていない	ps」の拡張子た	が付いている 🖌	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~
画像はすべて	正しくリンクしてファイルは	1フォルダにまとまっている		×.	~
画像データは	適切な解像度で、適切に ト	リミングされている			
画像、オブジェー	クト、フォントすべて色数に,	応じてブロセスカラー( CMYK )。 化またはラスタライズして 回稿内	を使用している に埋め込んでい	13	
マアイルは、画像	象を含めた JEPS形式で保	存されている		·	~
PostScriptプリ	ンタによる原寸出力見本(	またはウェットプルーフ を確認し	た	<ul> <li>✓</li> </ul>	<b>V</b>
ウィルスチェック	を行った 車項を記 λしたニベリケ	比った			
	ず頃で記八しにノベルで	ロノに		•	•
広告会社 送稿	担当者 送稿三自	213	電話番号 00-	0000-0000 ファックス番号	<u>+ 00-0000-0000</u>
		~	電子メールアドレ	<u>⊼ XXXX₩XXXXXX</u> 0000-0000 ¬¬~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	<u>• 00-000-0000</u>
制作(製版)担当	诸 広告太臣	213	电前宙亏 00- 電子メールアドレ	Z XXXX@XXXXXX	00-000-0000
·		PDF <b>ファイル上にテ</b>	キストやチェックを記	入できます。 プリントアウトまた	はコピーしてご利用ください。



資料 2-1. トラブル事例と対処方法 2-2. 用語の定義・意味などの解説 2-3. JAAA新聞原稿<掲載データ確認書> 2-4. JAAA新聞原稿<製版依頼書> 2-5. 協力 / 参考文献

# トラブるまえに読んでおこう。

# 2-1.トラブル事例と対処方法

デジタル送稿をスムーズに行うためには、データ処理上のトラブルを回避し、安全かつ確実なデータの送稿が求められます。 ここでは、デジタル送稿を行う際に起こりやすいトラブル、及び、その原因と対処方法について、まとめています。 トラブル事例の多くはデータ管理の不徹底によるもので、いずれもスムーズな送稿を阻害する要因となっています。 データチェックの確実さが望まれます。

# 2-1-1.フォントに関わるトラブル事例

- 【現象】 極端な斜体がかかった明朝体で出力されてしまった。
- 新聞社のRIPにインストールしていないフォントが使用されていた。 【原因】
- 【対処法1】TrueTypeフォントは全てアウトライン化して送稿する。
- 【対処法2】事前に新聞社のRIPに搭載されているフォントを確認し、 そのフォントで制作する。もしくは、その新聞社にないフォントを使用する場合は すべてアウトライン化またはラスタライズして、原稿内に埋め込んで送稿する。
- 【現象】 記号の部分のみ文字化けしてしまった。
- 【原因】 外字部分に制作会社が独自に作成したフォントが使用されていた。
- 【対処法】 当該フォント部分をアウトライン化し送稿する。
- レイアウト作業後EPSデータを作成して入稿したところ、文字の間隔が出力見本と異なっている。 【現象】
- 【原因】 OCFフォントとCIDフォントが混在使用されていた。
- 【対処法】 1ファイル中での使用書体をOCFフォントかCIDフォントのどちらかに統一する。
- プロダクションから届いたデータをチェックしようとして開いたところ、文字間隔が異なり改行位置が変わってしまった。 【現象】
- 【原因】 Illustratorのバージョンによりカーニングの値が異なるため。
- 【対処法】 仕様書などでプロダクションの環境を確認、同一環境でのデータチェックを行う。
- 【現象】 添付した出力見本に対して、フォントの字形が変わってしまったり、行の切り替えが変わるなどの様々な症状のトラブルが 各紙で発生した。
- 【原因】 ある新聞社では、RIPがアドビ純正ではなかった。
- 【対処法】 フォントをアウトライン化したEPSデータを送稿することでこのようなトラブルは防止できる。また、プロダクションのプリンタに 内蔵されているRIP、製版会社のRIP、新聞社のRIPはアドビ純正 / 非純正、バージョンなど、それぞれ違いがあることを 認識しておく必要がある。

## 2-1-2.ファイル保存に関わるトラブル事例

- 【現象】 Illustratorデータだが、送稿用のデータにもかかわらずアイコンに「EPS」と表示されていない。
- 【原因】 EPSではなくアプリケーションのネイティブデータで保存されていた。
- 【対処法】 再度EPS形式でデータを保存し直す。

(備考)アプリケーションのネイティブデータや製版ワークステーション独自のフォーマットは、ほとんどの新聞社で処理できない。 また、送稿データは複数の組織を経由するため、最も汎用的なEPSフォーマットが最適である。現段階で新聞社の推奨するフォーマットは EPS形式で、これを標準フォーマットとして受け付けています。

- 出力見本には画像がプリントアウトされているが、画面では画像が抜け落ちている(出力見本とデータの不一致)。 【現象】
- 【原因】 EPS形式の送稿データに画像が含まれていなかった。
- 【対処法】 EPS保存する際の「配置画像を含む」をチェックしてEPS保存し、MOにデータをコピー、MOの中のデータから出力見本を プリントする。

極端な斜体がかかった明朝体(エラーメッセージ)

# 2-1-3. 原稿サイズに関わるトラブル事例

- 【現象】 作成した原稿サイズが再現されず、縮小されて出力される。
- 【原因】 原稿枠外に、不要な素材を移動してレイアウト作業を進め掲載データとして最後に保存する際に消去していなかったため。 新聞社のRIP処理では枠外にあるオブジェクトを含めて絵柄と認識する。
- 【対処法】 当該オブジェクトを削除して再度掲載データを作成する。
- (備考)原稿の枠内外にある孤立点、ガイドラインなど、不要なものはすべて取り除くことが原則である。
- 【現象】 作成した原稿サイズが正しく再現されない。(モニター上には何も見えないのにプレビューが余白を含んでいた)
- 【原因1】 斜めに変形させたテキストボックスの角が枠外にはみ出しており、余白を含んでバウンデングボックスが形成されていた。
- 【対処法1】テキストボックスの形状を修正し再保存する。
- 【原因2】 不要な部分を含むIllustratorでマスクした画像データに対し、「ラスタライズ機能」を用いて解像度を調整すると、マスクが外れ、
- 【対処法2】解像度調整はIllustratorの「ラスタライズ機能」を使用せず、Photoshopで調整を行う。 ラスタライズ機能は図形データを画像データ化する機能であり、画像データに対しては適用すべきでない。



- QuarkXPressで原稿を制作しEPSデータを書き出したところ、原稿サイズで囲んだ罫の、下と右の太さが、上と左よりも 【現象】 細くなってしまった。
- 【原因】 バウンディングボックスが掲載サイズとわずかにずれたため。

【対処法】 原稿サイズよりコンマ数ミリ程度大きめの書類設定をして外周にわずかな余白を取り、EPSでページ保存する。

(備考)QuarkXPressでページをEPS形式で保存する際にドキュメントサイズがバウンディングボックスとして適用される。このケースでは ドキュメントサイズギリギリで囲み罫を作成したためズレが目立つ結果となってしまった。また、EPSファイルのパウンディングボックスの わずかなズレはQuarkXPressに限らず生じる場合がある。

マスキングされていた不要な画像が変化し、白い画像として生きてしまった結果、枠外にはみ出して原稿サイズに影響を及ぼした。

# EPS, PPI, RIP, UCR, ATM? 2-2. 用語の定義・意味などの解説

【現象】	Illustratorで原稿サイズのパスを描いて囲み罫を作成したところ、原稿サイズがわずかに大きくなってしまった。	分類	用語	解説
【原因】	Illustratorではパスを中心に、内側・外側に塗りが出来ることで罫が生成されるため、パスの外側の塗り部分だけ原稿サイズが		レイアウトデータ	アタリ画像データを用い
		~		レイアウト作業が全て済
【对処法】	囲み手の大きさを手の太さ分だけ小さくし、「ハスのアワトライン化」機能で手線をアワトライン化、その外側のハスを 「「「「「」」でする			レイアウトデータのアタリ
			 掲載データ	EPS形式の1ファイルに
		 PC全般	HFS	Hierarchical File Syst
2-1-4. 画	像に関わるトラブル事例			フォルタなどを分類する
【現象】	同じようなサイズの画像を並べてレイアウトしたが、それぞれの品質が著しく異なっている。		HFS+	大容量のハードディスク
【原因】	入力解像度の不一致のためシャープネスの見え方の差が現れた。			HFSの拡張版。MacO
【対処法】	使用サイズを確認してスキャニングを再度行い、シャーブネスなどの画像処理を行って送稿データを作成する。		デフォルト値(初期設定値)	ソフトをインストールした。
(備考)画像	象入力は「取り込むサイズ」と「掲載するサイズ」を計算してスキャニングする。 レイアウトが定まらないまま、とりあえずの			もしくは、ユーサーが仕意
画像入力を	行い、レイアウトが後追いとならない事。		ファイルサイズ	ファイルの大きさ(容量
【珇兔】	7ミ+ 特色のデータを作成したところ CMYKの/色で分版PIPされてしまった		ファイル形式(ファイルフォーマット)	データ形式のこと。例え
【佰因】				テータ。
【対処法】	特色を使用する場合はC版を色版としてデータを作成する。		ネイティブデータ	特定のシステムやアプリ 「Illustratorのネイティフ
		ファイル	テキストデータ	(色・サイズ・書体を指定
【現家】	し版を巴版として設定し入こキ特色のテーダを作成したにもかがわらり、CMYKの4色で分版RPされてしまうた。			レイアウトの素材となる
【原因】	万成の直接の原因はししフロノアイルを内包したテーダにつたことによる。			
【刘処法】	PhotoShops.0以上の場合、デフォルドでしてフロファイルの理の込みにチェックがはいっているためにてフロファイルが刻いて 4色に分版されてしまう。「チェックをはずして画像保存」をする。		EPSJY11	Encapsulated PostSc データに画面表示用の
				可能で、互換性にも量を
【現象】	同じ調子に見えた複数のCMYKモードの画像を、モノクロ化するためにPhotoshopでグレースケールモードに変更したら、調子が		リンク	QuarkXPressやIllustra
	バラバラに変わってしまい、濃度に大きな差が出てしまった。			)「」」)のこと。 止しく
【原因】	画像データ作成に使用したPhotoshopのバージョンが画像によって異なっており、Photoshop5.0で作成されたデータには ICCプロファイルが内包されていた	ソフト	АТМ	Adobe Type Manage ラスタライズするソフトウ
【対処法】	Photoshop5.0をICCプロファイルを埋め込まない設定にして画像を保存し直す。		アンカーポイント	Illustratorなどで図形を
				曲がり方などの情報を持
【現象】	写真にジャギーが複数箇所発生した( 斜めの直線部分 )。		孤立点	掲載データには関係の
【原因】	入力時、解像度が不足していた。		XTention	QuarkXPressの機能を
【対処法】	解像度を300dpi程度に上げたところ解消。写真内容によっては200dpi以上必要な場合もあるということが解ったが、			市販されている。他のソ
	データ容量が大きいため処理に時間がかかり、課題を残す。		Digimarc	ラスター画像中に著作
(備考)必要	ē以上に解像度を上げることは、作業を煩雑にするだけでトラブルの原因となることを忘れてはいけない。		ライダー	Illustratorでスクリーン約
【現象】	ロゴにジャギーが発生した。			ノラクイン及びノアイル
【原因】	ロゴやマークなどに多いモノクロ2階調データの解像度不足。		RIP	Raster Image Proces
【対処法】	1200dpiでスキャニングしたロゴ、もしくはIllustratorでトレースしたロゴに差し替える。			PostSchptテータを網点
		技術一般	PostScript	アドビシステムズ社が開 再現するための言語。と
2-1-5 <del>7</del> 0			ラスタライズ	PostScriptデータを画像
【現象】			アキュレートスクリーン	正確な角度とハーフトー
【原因】	送られてきたデータがウィルスに感染していた。			が出来るPhotoshopの
【対処法】	ウィルスチェックを行い、ウィルスに感染していないことを確認して送稿する。		PPDファイル	PostScript Printer De
(備考)ソフ	ト会社が公開している、最新の「ウィルス定義ファイル」を常用するよう心がける。			状態で出力されるよう、

1て、文字の割付、色の設定などの るんだ状態のデータ。

J画像を実画像データに貼り替えたデータ。

こすべての実画像データを内包した、送稿用のデータ。

tem(階層的ファイルシステム)の略でMacOSのファイルや 仕組みのこと。

を有効に利用するためMacOS 8.1からサポートされた S 8.0以前では利用できない。

ときに最初に設定されている値。 意に初期値として定義した値。

)のことで、KB(キロバイト)、MB(メガバイト)などの単位が用いられる。

」ば、IllustratorでEPSファイルとして保存したデータは「EPS形式」の

リケーションオリジナルのデータ。Illustrator形式のデータを ブデータ」と呼ぶ。

定していない)文字情報。

マークやロゴ、タイトル、図形などのデータ。

cript(カプセル化されたPostScript)ファイルの略で、PostScript )データを含めてファイル化したもの。 画像・図形・文字を扱うことが いためDTPでもっとも一般的に使用される。

atorでレイアウトソフトのデータと貼り込まれている画像データとの 、関連づけられていない状態を「リンクが外れる」と表現する。

rの略で、PostScriptType1フォントデータを画面表示用に ヮェア。

表現する際の線と線を繋いでいる点のこと。繋いだ線の角度や 持っている。

ない不要なアンカーポイントのこと。

を拡張するためのファイルで、文字ツメ機能など様々な製品が ノフトの" プラグイン "に相当する。

権などのテキスト情報を埋め込むためのPhotoshop用プラグイン。

線数や角度などの情報をEPSファイルに埋め込むときに使用する のこと。

sorの略で、CTSなどの出力機固有の解像度にあわせて 点化する演算装置及びソフトウェアのこと。

見発した、IllustratorやQuarkXPressなどのソフトでページレイアウトを 出力見本はPostScript対応のプリンタを用いて出力する。

象データ化(ラスター化)すること。

-ンスクリーン線数を、特定の高解像度出力機の出力に反映すること 設定項目。

scripsion(プリンタ記述)ファイル。PostScriptプリンタで最適な スクリーン線数や用紙サイズの情報が収録されている。

分類	用語	解説
技術一般	CTS	Computerrized Typeseting Systemの略で、新聞社のコンピュータ紙面編集及び 出力システムを指す。
画像	画像解像度	デジタル画像のきめの細かさのこと。 1インチあたりの画素( ピクセル )数で表す。 単位はppiもしくはdpi。
	入力解像度	画像をスキャニングする際の細かさの度合い。画像の使用サイズからスキャニングの倍率を 決定し、その上で適切な入力解像度を設定する。通常は出力線数の2倍の数値の値を用いる (例:100線で印刷するならば200dpiでスキャニング)。
	出力解像度	プリンタなどの出力機器が持つ解像度のことで、新聞社のシステムにも909dpi、681dpi、 721dpi、454dpiなど固有の値がある。
	dpi	dots per inchの略で、画像解像度の単位。
	ррі	pixels per inchの略で、画像解像度の単位。dpiと同義語として用いられる。
	実画像データ	出力解像度に見合った適切な解像度を持ち、レタッチ処理が行われた画像データのこと。
	アタリ画像データ	レイアウトデータ上で写真の位置・大きさを示すために貼り込まれた画像データのこと。 実画像データに置き換えて送稿する。
	配置画像	IllustratorやQuarkXPressなどのレイアウトデータに貼り込まれた画像のこと。
	DCS形式	クォーク社が提唱する画像ファイル形式のひとつ。1点の画像が、CMYKの4版と 画面表示用の低解像度データの5つのファイルからなる。
	OPI形式	アルダス社(現アドビシステムズ社)とヘル社(現ハイデルベルグ・プリプレス社)が提唱した Open Prepress Interfaceという規格に基づく画像フォーマットで、高解像度データから 低解像度データを作成してレイアウト作業をし、サーバー上に保管された高解像度データに 自動的に差し替えて出力することができる。
	トランスファ関数	Photoshopで画像とフィルム間に生じるドットゲインを補正するための設定項目。ドットゲイン カーブと同様、グレースケールに沿って13個までの値を指定しカスタマイズすることができる。
製版·印刷	オーバープリント	カラー印刷で色の上に別の色を重ね刷りすること。
	トラップ(トラッピング)	カラー印刷でヌキアワセにする部分に施す処理で、版ズレが影響しないよう境界部分を わずかにだぶらせること。
	ハーフトーンスクリーン情報	スクリーン線数・角度・形状の情報のことで、Photoshopではこれらの値を画像ごとに設定、 また設定した情報を生かして出力するかどうかを選択することが出来る。
	TAC	Total Area Coverage( 網点総面積率 )の略で、ある1画素に対して与えられるCMYK%の 合計。
	GCR	Gray Component Replacement( グレー成分置換 )の略で、主にTACの低減を目的とし、 すべての画素に対して、CMYがほぼ等量ずつ重なってできたグレー成分をスミ版に置換する こと。
	UCR	Under Color Removal( 下色除去 )の略で、シャドー部分の階調再現性の改善及び色の 転びを防止するために、CMYが等量の無彩色画素のみに対して、スミ版に置換すること。
組版	組寸	組版時に使用されるサイズのこと。CTS内部では記事と広告とを合体して紙面が 組み上げられている。その組版処理サイズのことを指す。
	刷寸	実際に印刷されるサイズのこと。例外的に組寸・刷寸とも同サイズの新聞社もあるが、ほとん どの新聞社で組寸・刷寸は区別されているため、制作時のサイズには注意する必要がある。
	カーニング	1字ごとに字間を調整すること。
	トラッキング	文字列の字間を一律に調整すること。

	2	-3.JA	AA <b>新</b>	f 聞 原 和	高く
ファイル名				<b>1</b> 4	.e
広告主			商品		
送稿日	年 月	日	掲載予	定日	
送稿メディア	3.5MO( 12	8MB)	3.5MO( 2	30MB)	CD
原稿サイズ		段	/ 天地	<u>b</u>	׏
色数	スミ1色(モ	ノクロ原稿)	) 4色;	カラー原稿	5
DS Checker	検査済み	デジタ	ルセンド	用にデータ	書き出
				ファ	イル
	Illustrato	or パ	ニジョン	5.5J	8.0
アプリケーション	QuarkXF	Press パ	ージョン	3.3J	4.0
	Photosh	op パ	ージョン	3.0J	4.0
	OCF	Lリュウミン リュウミンU 見出ゴMB 新ゴR	L-KL  -KL 331 = 新ゴM	リュウミン M中ゴシッ ゴシックMB 新ゴB	R-KL クBBI 101-B 新
フォント	CID	Lリュウミン リュウミンU 見出ゴMB 新ゴR	L-KL H-KL 331 二 新ゴM	リュウミン M中ゴシッ ゴシックMB 新ゴB	R-KL クBBE 101-B 余
	その他 (				
	オーバープ!	ルント	設定	済み	設定
その他	トラッピング		設定	済み	設定
	ハーフトーン	スクリーン	新聞	社の設定の	直を使
備考					

# チェック事

ファイル名は半角英数字27文字以内(全角の日本語13文字以内) 孤立点やガイドライン、トシボなど不要なデータが残っていない 画像はすべて正しくリンクしてファイルは1フォルダにまとまっている 画像データは適切な解像度で、適切にトリミングされている 画像、オブジェクト、フォントすべて色数に応じてプロセスカラー(CMY 使用できないフォントはすべてアウトライン化またはラスタライズして原始 ファイルはば、画像を含めた JEPS形式で保存されている PostScriptプリンタによる原寸出力見本(またはウェットプルーフ)を確 ウィルスチェックを行った メディアに必要事項を記入したラベルを貼った

広告会社 送稿担当者

制作(製版)担当者

揭	載データ	確認書>	>		ver1.5
eps	掲載媒体		τIJ	7	
		広告会社			
年	月	E	朝	Ð	夕刊
)-R	その他(		)		
左右	mr	n 組寸	刷寸	2連閲	反
スミ+キ	持色 <		>( 単色	9.原稿)	
ЗU	DS簡易ケ	デラを添付			
情報					
).x	9.0.x				
).xJ	4.1.J				
).xJ	5.0.x 5	.5 6.0.x			
- B 3 新ゴU	リュウミンM-KI B太ミンA101 ゴシックMB10 Lじゅん1(	L リュウミ B太ゴB1 1-H ゴシ: 01	vB-KL リ 01 見出 vクMB101-U	リュウミンH ミンMA31 新ゴ	I-KL L
- B 3 新ゴU	リュウミンM-KI B太ミンA101 ゴシックMB10 しじゅん10	L リュウミ B太ゴB1 11-H ゴシ: 01	vB-KL リ 01 見出 vかMB101-U	リュウミンH ミンMA31 新ゴ	I-KL
<b>⇒</b> 1 +>	1.1	) )7/	/HL 9 / ( )/	·JFJ1ノ	16済め
トロン	-z		辛回めにた	╓╁┍	
ヒ田 9	ত ৴৴৴	いの設定値を	r息凶的に使	H196	
事項		制 制	作担当	送利	高担当
)で <sup>г</sup> .е	ps」の拡張子;	が付いている			
ΥК Ø 〔稿内	と 使用している に埋め込んで	113			
記し	た				
	電話番号		ファックス番号		
	電子メールアドレ	~ス			
	電話番号	_	ファックス番号		
ル上にラ	電子メールアドレ テ <b>キストやチェックを</b>	/ス 記入できます。 フ	<sup>(</sup> リントアウトまたは	コピーしてこ	利用ください

2-4. JAA	2-4.JAAA新聞原稿<製版依頼書> ver1.5											
広告会社			相当者			電話	番号		זכ	ッックス番号		
						電子	メールアドレス					
制作会社			相当者			電話	番号		נכ	マックス番号		
						電子:	メールアドレス					
広告主				商品				掲載紙				
記入日	年	月	日	入稿日	年	月	B	送稿日		年	月	日
原稿サイズ			段	/ 天地		×左右	r	nm	組寸	刷寸	2連版	
色数	スミ1	色(モノ	/クロ原稿	) 4色カラー	·原稿	スミ+特色 <	Ś			>( 単色	原稿)	

	利作環境
OS	KT7.5.x MacOS7.6.x MacOS8.0 MacOS8.1 MacOS8.5.x MacOS8.6 MacOS9.0.x MacOS9.1.x
	Illustrator バージョン 5.5J 8.0.x 9.0.x
アプリケーション	QuarkXPress バージョン 3.3J 4.0.xJ 4.1J
	Photoshop バージョン 3.0J 4.0.xJ 5.0.x 5.5 6.0.x
ATM <b>バージョン</b>	3.8x 3.9.x 4.0.x 4.5.x 4.6.x
	LリュウミンL-KL リュウミンR-KL リュウミンM-KL リュウミンB-KL リュウミンH-KL リュウミンU-KL M中ゴシックBBB B太ミンA101 B太ゴB101 見出ミンMA31 見出ゴMB31 ゴシックMB101-B ゴシックMB101-H ゴシックMB101-U 新ゴL 新ゴR 新ゴM 新ゴB 新ゴU Lじゅん101
フォント	LリュウミンL-KL リュウミンR-KL リュウミンM-KL リュウミンB-KL リュウミンH-KL リュウミンU-KL M中ゴシックBBB B太ミンA101 B太ゴB101 見出ミンMA31 見出ゴMB31 ゴシックMB101-B ゴシックMB101-H ゴシックMB101-U 新ゴL 新ゴR 新ゴM 新ゴB 新ゴU Lじゅん101
	<del>そ</del> の他 ( )

チェック事項

原稿サイズを確認した	OCFフォントとCIDフォントを混在して使用していない
校正刷リに使用するトンボにはCMYKそれぞれ	トラッキングとカーニングを同じテキストに使用していない
100%の指定がされている	使用できないフォントはすべてアウトライン化または
貼り込んだ(配置した)素材のファイル名を変更していない	ラスタライズしてある
リンクしているファイルは1フォルダにまとまっている	不要なオブジェクトや文字などを削除した
画像データは適切にトリミングされている	孤立点の削除を行った
画像、オブジェクト、フォントすべてプロセスカラー( CMYKまたはK を	不要なレイヤーを削除した
使用している	不必要なグループ化を解除した
プラグインやXTensionなど出力側にインストールを必要とするものは	ガイドラインを削除した
使用していない	ウィルスチェックを行った
TrueTypeフォントは使っていない	

			現在のファー	イル
ファイル名				
入稿メディア	3.5MQ( 128MB	) 3.5MO( 2	30MB)	С
Illustrator	ファイル形式	Illustrator	IllustratorE	PS
QuarkXPress	ファイル形式	QuarkXPress	EPS <	囸
	ファイル形式	Photoshop	Photoshop	EP
	画像の内容	アタリ画像(添	付透過原稿	
Photoshop	エンコーディング	バイナリ	JPEG	
	UCR	設定していない	<b>۱</b> 設定	済。
	画像解像度	72ppi 14	44ppi 2	200
	トンボ	校正用に使用	している 1	使月
	オーバープリント	設定していない	۱ 設定	済。
	トラッピング	設定していない	<b>۱</b> 設定	済。
حወ曲		設定していない	١	
COR		意図的に設定	 済み	
	スクリーン	線数 50lp	i 60lpi	6
		角度 45度	90度	Z
		網点形状	円 菱形	

以下の内容に従って製版作業

ファイル名						
送稿メディア	3.5MO( 128MB	) 3.5MQ(230MB) 0				
DS Checker	検査のみ行う	デジタルセンド用に検査・認証				
Illustrator	ファイル形式	IIIustratorEPS < 配置ファイル保存				
QuarkXPress	ファイル形式	EPS < 画像を含む >				
	ファイル形式	PhotoshopEPS				
Photoshop	画像の内容	実画像				
	エンコーディング	バイナリ				
	UCR	色分解時に設定する 入				
	画像解像度	200ppi その他(				
	トンボ	校正用に使用しているトンボを				
	オーバープリント	製版時の判断で設定する				
	トラッピング	製版時の判断で設定する				
		新聞社の設定値を使用する				
その他	ハーフトーン スクリーン	読み込んだEPS画像の設定値 製版時に設定する 線数 50lpi 60lpi 角度 45度 90度 網点形状 円 菱形 入稿時の設定を変更しない				

ー 製版スタッフへのデータ入稿時の指示・確認用シートです。制作会社 広告会社 製版会社とし 努めてください。 同じ項目でチェックが重なる場合や、すべてがチェックされない場合もあり得ます。 してご利用ください。

備考

日本の						
	シファイル情報	報				
			<b>一</b> 他			
10(2301VIB)					)	
	ratorEPS <	む 直 ノア・	1ル休仔 >			
		を召む > 				
					<u> </u>	
R(	<b>录</b> 椅	点 / 添作	可反射原禍	点)	美画像	
JPEG						
, たい	設定済み					
144ppi	200ppi		D他(	)ррі		
使用している	使用し	ていない	フォント	フォントはすく	ベてアウトライン化	上済み
, いない )	設定済み					
,1ない	設定済み					
, ない						
設定済み						
50lpi 60	lpi 65lpi	85lpi	i 100lpi	その他(	)lpi	
45度 90	度その	也( C	度 / M	度 / Y	度 / K	度)
日	菱形 楕	円 ラ1	と 四角	う クロス		
製版スタ	ッフに対する	指示				
10 230MB )		.eps	- <b>の</b> 曲(		)	
ケバ田に検		、  ;;;		ミゲラを添付す	, z	
					2	
いくをして	イル保方、					
PS<配置ファ	イル保存 >					
PS < 配置ファ を含む >	イル保存 >					
PS < 配置ファ を含む > PS	イル保存 >					
PS < 配置ファ を含む > PS	イル保存 > 					
PS < 配置ファ を含む > PS	イル保存 > 		変更したに			
PS < 配置ファ を含む > PS に設定する その他(	イル保存 >  入稿 <sup>時</sup>	うの設定を	変更しない			
PS < 配置ファ を含む > PS に設定する その他( 使用している	イル保存 > 入稿 <sup>11</sup>	寺の設定を )ppi する	変更しない フォント	<u>すべてのフォ</u> `	小安卫ウトライング	
PS < 配置ファ を含む > PS に設定する その他( 使用している	イル保存> 入稿 トンボを削除	寺の設定を )ppi する	変更しない フォント	すべてのフォン	小をアウトラインイ	とする
PS < 配置ファ を含む > PS に設定する その他( 使用している 判断で設定す 判断で設定す	イル保存 > 入稿明 トンボを削除 する ノ する ノ	寺の設定を )ppi する 、稿時の設	変更しない フォント 設定を変更し 3定を変更し	すべてのフォン ない ない	トをアウトラインイ	とする
PS < 配置ファ を含む > PS に設定する その他( 使用している 判断で設定す 設定値を使用	イル保存 > 入稿 <sup>1</sup> トンボを削除 する ) 日する	寺の設定を )ppi する (稿時の設	変更しない フォント ひ定を変更し 設定を変更し	すべてのフォン ない ない	小をアウトラインイ	とする
PS < 配置ファ を含む > PS に設定する その他( 使用している 判断で設定す 設定値を使用	<ul> <li>イル保存 &gt;</li> <li>入稿</li> <li>トンボを削除</li> <li>する /</li> <li>引する</li> <li>(4) 字(6) 5 ぞ</li> </ul>	う か す る 、 稿時の 設 、 福時の 設 、 の 部 の の 設 定 を う の り で う の う で う の う で う の う で う の う で う の う で う の う で う の う で う の 記 し 、 の 記 し 、 の 記 し 、 の 記 し 、 の 記 し 、 の 記 し 、 の 記 し 、 の 記 し 、 の 記 し 、 の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 の 記 の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 し の 記 の 記 し の こ し し し し し し し し し し し し し	で変更しない フォント 設定を変更し 設定を変更し	すべてのフォン ない ない	小をアウトラインイ	とする
PS < 配置ファ を含む > PS PS に設定する その他( 使用している 判断で設定す 設定値を使用 だ設定する	<ul> <li>イル保存 &gt;</li> <li>入稿</li> <li>トンボを削除</li> <li>する /</li> <li>する /</li> <li>用する</li> <li>り設定値を意</li> </ul>	うの設定を うの設定を うの説 する 、 稿時の設 、 個的に使り	変更しない フォント 設定を変更し 設定を変更し 用する	すべてのフォン ない ない	小をアウトラインイ	とする
PS < 配置ファ を含む > PS PS に設定する その他( 使用している 判断で設定す 設定で設定する だEPS画像の に設定する 50lpi	イル保存 > 入稿 トンボを削除 する / 引する り 設定値を意 601pi 65	寺の設定を )ppi する (稿時の設 図的に使) lpi 85	変更しない フォント 設定を変更し 設定を変更し 用する	すべてのフォン ない ない lpi その他(	小をアウトラインイ 	上する i
PS < 配置ファ を含む > PS に設定する その他( 使用している 判断で設定す 設定値を使用 だEPS画像の に設定する 50lpi 45度	<ul> <li>イル保存&gt;</li> <li>入稿<sup>□</sup></li> <li>トンボを削除</li> <li>する /</li> <li>する /</li> <li>引する</li> <li>小設定値を意</li> <li>60lpi 65</li> <li>30度 そ(</li> </ul>	+の設定を )ppi する (稿時の設 図的に使) Ipi 85 の他(C	変更しない フォント 設定を変更し 設定を変更し 開する lipi 100 度/M	すべてのフォン .ない .ない lpi その他( 度 / Y	<u>小をアウトラインイ</u> していた りp 度 / K 度	上する i )
PS < 配置ファ を含む > PS PS に設定する そのの( 使用している 定する 他( 使用助でご設定す を使用 だEPS電を使用 だEPS電する 50lpi 45度 男 、	イル保存 > 入稿時 トンボを削除 する / 引する の設定値を意 60lpi 65 90度 そ( 菱形 5		変更しない フォント 定を変更し 設定を変更し 日する に向する の 度 / M ライン 四	すべてのフォン かは N がは N Ipi その他( 度 / Y 印角 クロス	<u>小をアウトライン(</u> )ル 度 / K 度	上する i )
PS < 配置ファ を含む > PS PS に設定する その他( 使用している その他( 使用している だEPS回なる 50lpi 45度 て変 い の設定を変 の で変 の たての た で の に している た の た の た の た の た の で い の で の で の で の で の で の で の で の で の	<ul> <li>イル保存&gt;</li> <li>入稿</li> <li>人稿</li> <li>トンボを削除</li> <li>する</li> <li>する</li> <li>する</li> <li>する</li> <li>する</li> <li>する</li> <li>する</li> <li>する</li> <li>する</li> <li>うの度</li> <li>その</li> <li>夏しない</li> </ul>	寺の設定を ) う する (稿時の設 図的に使) り に使 り か他(C 精円 :	変更しない フォント 設定を変更し 設定を変更し 開する にないのの 度/M ライン 図	すべてのフォン ない ない はい しpi その他( 度 / Y 明角 クロス	<u>小をアウトラインイ</u> りp 度 / K 度	上する ii )

# 2-5.協力/参考文献

【協力】

社団法人日本新聞協会 http://www.pressnet.or.jp/ 株式会社 デジタルセンド http://www.digital-send.com/ 新聞広告電子送稿コンソーシアム(2000年1月活動終了) 株式会社 電通テック http://www.dentsutec.co.jp/ 株式会社 アドダム http://www.ad-dam.co.jp/ アップルコンピュータ株式会社 http://www.apple.co.jp/ アドビ システムズ 株式会社 http://www.adobe.co.jp/ クォークジャパン株式会社 http://www.quark.co.jp/ 株式会社 モリサワ http://www.morisawa.co.jp/ 株式会社 シマンテック http://www.symantec.com/region/jp/

## 【参考文献:ガイド、マニュアルなど】

『新聞広告デジタル送稿ガイドライン』 『新聞技術』 <以上日本新聞協会> 『MO入稿の手引き』 <朝日新聞社 > 『新聞原稿製作マニュアル』 <電通テック> 『DIGITAL GRAPHICS REFERENCE MANUAL』 <電通> 『デジタル制作ガイド』 <博報堂> 『Adobe Illustrator8.0 ユーザガイド』 『Adobe Photoshop5.0 ユーザガイド』 <sup>r</sup> Digital Prepress Guide <sup>a</sup> <sup>®</sup>Adobe Tips for Commercial Printing <sup>a</sup> 『Adobe Illustratorデータ入稿の手引き』 Printout Seminar 『CID-KeyedフォントQ&A』 『CID-Keyed フォントの運用について』 <以上 アドビシステムズ> <sup>®</sup>MORISAWA FONT&Guide<sub>a</sub> 『CIDフォントに関する「Q&A」集』 『CID Fontのメリット』 『NewCID / ViewFontについて』 『NewCIDFont( Macintosh版 )について』 <以上 モリサワ>

### 【参考文献:書籍】

『ポストスクリプト・スクリーニング デジタル印刷の網点生成技術』 <ピーター・フィンク著 エムディエヌコーポレーション 94年8月>

『DTPシステム用語辞典 コンピュータから印刷まで』 <鍛冶隆·小山明広·土田文利著 日本印刷新聞社 96年3月>

『標準DTP入門講座応用編』 <新世代出版研究所编 翔泳社 97年2月>

『標準DTP出力講座』 <上高地仁著 翔泳社 97年9月>

『DTPの鉄則 DTPトラブルゼロへの道』 <日経デザイン編 日経BP社 97年11月>

『DTP用語辞典'98 '99』 <新世代出版研究所編 ビー・エヌ・エヌ 98年1月>

『マックの謎2』 < 日経MAC編 日経BP社 98年9月>

『標準DTP出力講座フォント攻略編』 <上高地仁著 翔泳社 98年11月>

『Macintosh用語辞典 ま~ぱのコトテン』 <山本英司著 アスキー 99年3月>

『最新DTP/PDF標準テキスト』 <横河電機(株)CyberDocプロジェクト編 日経BP社 99年7月>

『Macで焼こうCD-R』 <納富廉邦著 毎日コミュニケーションズ 99年8月>

# 【参考文献:ホームページ】

<sup>®</sup> DEx Information ( http://www.dex-info.com/ )
<sup>𝕫</sup> AD DAM 』 (http://www.ad-dam.co.jp/)
<sup>r</sup> CD-R Links ( http://homepage1.nifty.com/cdr/ )
<sup>r</sup> DTP-S <sub>a</sub> (http://www.incunabula.co.jp/dtp-s/)
<sup>®</sup> MO Forum Japan 』 (http://www.mo-forum.gr.jp/)
『アスキー デジタル用語辞典』(http://yougo.ascii24.com/)

(順不同)